



安全だより

発行

公益社団法人仙北市シルバー人材センター
安全・適正就業委員会 令和3年12月 第44号

安全就業の心得・再確認

安全・適正就業委員長 田村 弘樹

冬が駆け足で近づいているようですが、会員の皆様にはご清栄のこととお喜び申し上げます。

今回は安全就業の心得について再確認致したいと思っております。日頃から健康管理に努め、常に健康な状態で就業し、仕事の前日は十分に睡眠をとりましょう。保護具や器具類は常に点検し、仕事を始める前には準備運動をしましょう。仙北市シルバー人材センターの会員として率先して仕事の開拓に努め、センターから紹介された仕事について内容をよく確認し、理解した上で引き受け誠実に履行すること。そしてセンター事業の趣旨と目的を自覚し、地域社会に貢献し明るい町づくりの一助といたしましょう。依頼された仕事の遂行にあたっては、発注者ひとりひとりの気持ちを大切にし絶対に就業上知り得た個人や家庭の情報を他に漏らさないことを約束して下さい。

みんなで守ろう『秘密保全』。

無事故を目指して「全国統一スローガン」

「いつまでも 働く喜び 無事故から」

(令和2年度から令和4年度まで)

★10月～12月までの当センター安全スローガン

「これくらい

小さな手抜きが 事故のもと」

令和3年度上半期当センター事故発生状況

◆賠償責任事故 1件

6月3日…草刈り(機械刈り)作業中に灯油管を破損してしまった。

◆傷害事故 1件

7月20日…竹の伐採作業中に顎の下を蜂に刺された。

令和3年度上半期県内シルバー事故発生状況

◆賠償責任事故 26件

草刈り作業中の飛び石等によるガラス破損が17件と最も多く見られました。

◆傷害事故 20件

蜂刺され6件、熱中症3件、切れこすれ3件、転落、落下、交通事故 等



安全・適正就業現場パトロール結果報告

7月6日～7月29日の期間に15ヶ所を巡回しました。その他9月7日に連合会による安全就業パトロールも行いました。



★ヘルメットの未着用2名

⇒昨年度の未着用は0名

減反地での草刈りの作業中、3名中2名が気温が高くてヘルメットをかぶっての作業が大変だと理由でかぶっていませんでした。

★服装不適0名⇒昨年度0名

※各現場において、日影がない場所での休憩時には木陰で涼んだり、こまめな休息や水分補給など徹底されていた。蜂や虫刺され防止の為にスプレーや蚊取り線香などの準備もされていた。高所での剪定作業等の現場では梯子の固定や安全帯の着用等も徹底されていた。

冬囲い作業の事故防止!!

- ヘルメットは必ず着用すること。
- 材料の運搬や設置の際は周囲の安全確認を必ず実施すること。
- 脚立や梯子を使用する時は適正な使用方法で就業すること。



除雪作業中の事故にご注意ください

転落

転倒

落雪

- 除雪車通過後の転倒に注意。
- 道路に面した作業場所では自動車に注意。
- ヘルメットは必要に応じて着用すること。
- 作業は必ず2名以上ですること。
- 携帯電話を身につける。
- 強風や大雪などの悪天候の際は作業を控えること。



※自宅での作業の際も安全を最優先に除雪をお願い致します。



※ワクチンの効果が出始めてコロナウィルスの感染者も少なくなりましたが、万が一ご自分やご家族が感染したり、濃厚接触者になってしまった時は速やかに事務所まで連絡くださいますようお願いいたします。(仙北市シルバー人材センター ☎55-1646)